

**東日本大震災により亡くなられた方のご冥福を
お祈り申し上げますとともに、
被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興と、
皆さまのご無事を心よりお祈り申し上げます。**

**市立銚子高校
同窓会だより**

銚子市立銚子高等学校

同窓会報
第4号

発行
銚子市春日町2689番地
TEL 0479 250311
FAX 0479 234441
市立銚子高校同窓会
発行責任者 金井洋夫
編集 長田 杭和
印刷 三友舎印刷



**心の支えに母校・
同窓会**

同窓会会長
金井洋夫

平成23年3月11日の東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災された同窓生には健康に留意され早期に復興されることを祈っております。なお、今回の同窓会だよりは東北地方にお住まいの同窓生全員に送付しました。同窓会が皆様の心の支えになればと思っております。母校も、今回の地震では強い揺れに見舞われましたが、新校舎なので被害はほとんどありませんでした。母校は銚子市民の避難所として400

名以上の人と200台以上の車の避難を受け入れ、地震発生の夜は多くの人が春台会館(合宿所)で過ごしました。特に改修工事のための募金をいただいた春台会館は、耐震工事も行われたので避難した住民も安心して一夜を過ごせたようです。また、学校が生徒の被災調査をしたところ、家屋全壊や半壊などの被災をした生徒がいることが判明しました。同窓会から被災された生徒への見舞金として10万円を学校に贈りました。旭、飯岡や神栖、鹿嶋、香取などの被災地から通学している生徒の支援になればと考えております。さて、本校と同窓会のこの1年間を振り返ってみますと、昨年7月に新校舎が完成し、9月4日に銚子市と本校の主

催で、10月16日に同窓会の主催で新校舎見学会が開催され、多くの同窓生にお越しいただきました。最新の校舎と設備に目を見張り、ご自身の高校時代に思いを馳せたことと思います。見学者には、同窓会から同窓会の名入りボールペンを記念品として配布しました。10月7日には、本校主催の落成記念事業として、ジャズミュージシャン菊地成孔氏(57年卒)と本校吹奏楽部の合同演奏会が開催され、11月19日には、新校舎落成記念式典が本校体育館で挙行了されました。設備面では、正門入り口がわかりにくかったため、大勝建設さんに同窓会からお願いして、旧西高時代から使っていた国道356号沿いの校名看板を無料で移設してもらいました。また、春台会館の新しいカーテンを同窓会から寄付しました。新市立高校は校舎、グラウンド、制服、校章、校歌、教育課程と全て揃いました。旧両校の面影は、お山が東門(旧裏門)、南門(旧正門)に、工業化学科が専攻科棟・音楽棟の校舎に、お山の合宿所は改修された春台会館に、校歌石碑や部活動全国大会出場の記念碑はメモリアルパークに見ることができ、そして銚子西高校の校訓は新高校に受け継がれております。新しい銚子市立銚子高等学校となりましたが、旧両校の

魂はしっかり受け継がれています。今後も母校への支援と同窓会の活性化に努めますのでよろしく願います。最後に、新同窓会名簿を8月下旬発行の予定で作成しておりますので、より多くの同窓生に御購入いただきますようお願い申し上げます。



菊地成孔氏(中央)と吹奏楽部による新校舎落成記念演奏会



本校正門。右端に校名看板



体育館で行われた落成記念式典

母校は今



学校長 猿渡末治

復興日本へ人材育成 4年ぶりに着任して

同窓会会員の皆様には、ますます御健勝のことと拝察いたします。また、日ごろ本校の教育活動に格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

私は、平成15・16年度に旧市立銚子高校の教頭として勤務し、今春の人事異動で、県立銚子商業高校（副校長）から4年ぶりに校長として赴任してまいりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

支援をして参りたいと考えております。また、本校においても、津波や液化化現象等で、家屋が全・半壊した生徒や職員がいます。こうした中、同窓会から被災した生徒・職員にお見舞いを頂戴し誠にありがとうございます。頂戴しましたお見舞いは、生徒・職員・後援会・ヤマサ醤油山高会からの募金と併せて、校内の配分委員会で被災した生徒・職員に届けさせていただきます。

さて、平成20年4月、旧市立銚子高校（お山）と旧市立銚子西高校（西高）が統合し、新生『銚子市立銚子高等学校』としてスタートし4年目を迎え、平成22年7月、多くの同窓生の心の拠り所であった校舎は、椎の木に迎えられた野尻が丘の校舎から、近代的な施設・設備の新築校舎として

生まれ変わり、ここ春日台の地で、新しい歴史の1ページが始まりました。

この度の新校舎建設に際し、「銚子市立銚子高等学校新校舎整備に関する募金」に数多くの同窓生の皆様から御寄付を賜り、お陰をもちまして、春台会館（同窓会館・合宿等の施設）の整備・改修も滞りなく完了いたしました。ここに改めまして、皆様の御支援に感謝申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます。今後も「生徒・保護者・地域のニーズに応える進学指導に重きを置く学校」「様々な教育活動の中で、生きる力と豊かな心を育む活力ある学校」を目指し、入学した生徒の夢を叶える教育を日々実践して参ります。

私は、入学式や始業式で生徒に『東日本大震災で、これからの日本がどうなるのか。復旧、復興へ向けて「ガンバロー日本」を合言葉に一致団結して頑張っているこの時、自分に何ができるのか。それを考えてほしい。そして、そのために、本校で何を学び、何を行うか。明確な目標を持ち、その達成のために、能力や創造性の基礎を培い、自ら学ぶ意欲と主体的な学習の仕方方を身に付けなければならぬ。』と話しました。市銚生なら、必ずやり遂げてくれると信じております。この春の卒業生・修了生も大学入試では、

国公立大学現役合格者数が55名にのぼり、すばらしい進学実績を残しました。

また、看護師国家試験では、看護科・専攻科修了生全員が合格いたしました。本年度も生徒の夢が叶うよう職員が一丸となって頑張る所存です。また、学校外の教育力の活用の一環として、県内外の同窓生の方々にお願ひし、「職業人講話」を毎年11月に実施しております。今後も母校の後輩のため、本校の教育活動にお力添えを賜りますよう切にお願ひ申し上げます。結びに、同窓会のますますの御盛会を御祈念申し上げます。着任の挨拶といたします。



整備された第二グラウンドの野球場



5月2日に行われたスポーツテスト



5月23日より2～3週間、教育実習生が21名来校。写真は早稲田大学4年の時友皓輝君



5月24、25日には、クラス対抗の球技大会



正門脇のテニスコートはオムニコート。



弓道場は、ひさしがついた

新校舎初の文化祭

「市銚校響曲 新楽章」New Chapter Opens」をテーマに、新校舎初の文化祭が6月24、25日、開催された。

「どんなものでも、初めてというのは大切で刺激的で、そしてかけがえのないものだろう。初めての親友、初めての恋愛、初めての勝利。そして新校舎で初めての文化祭も同じであろう」（生徒会長 滝雄太郎さん）。

ことしのテーマには「新しい市立銚子の歴史の幕開けになってくれたら……と

いう思いが込められています」（文化委員長 深井俊樹さん）

（文化祭パンフレットより）

一般公開日の25日は、この時期にしては雨のない涼しい天候で、多くの市民や父兄が来場し、来場者数は約1400人を越えた。42団体（クラス25、文化部10、有志10、保護者会1）が参加し、演劇、展示から模擬店までバラエティーに富んだ文化祭となった。一方、駐車場不足の課題もあった。



写真
 文化祭A
 24日、開会式後の各団体1分間PR「パイレーツ・オブ・カリビアン」
 文化祭B
 キャンパスストリートには各団体の看板が並ぶ
 文化祭C
 書道部のパフォーマンス。地味な文化祭の書道部だったが、映画「書道ガールズ!!!」以降、注目の部活に
 文化祭D
 看護科専攻科2年は「ナースのお仕事」でみんなの健康チェック
 文化祭E
 寄せ書きに書いているのは、昨年まで教頭先生だった弓削先生
 文化祭F
 2年H組の演劇「白雪姫」

部活動の主な成績

- 空手道部
男子団体 組手
関東大会出場(県予選3位)
- 伊藤大地 (3年)
川端大介 (2年)
齋藤一郎 (2年)
高木俊太郎 (2年)
田島聖司 (1年)



左から、空手道部顧問の宮野薫教諭、川端さん、齋藤さん、伊藤さん、高木さん、田島さん、陸上競技部山崎さん、顧問の栗橋隆之教諭、坂本欣人教諭

今年の進路状況

- 進学
 主な大学 (現役合格者数)
 (国公立) 岩手大1、東北大3、山形大2、福島大2、茨城大12、筑波大1、埼玉大7、

- 陸上競技部
女子砲丸投げ
関東大会出場(県予選3位)
山崎かおり (3年)
(関東大会8位入賞 11m68cm)

就職

平成23年度 進学状況

種別	普通	理数
国公立大学	30	19
私立大学	174	15
私立短大	10	-
専門学校	23	1

- 千葉大10、電気通信大1、東京芸大2、信州大1、首都大学東京1
 (私立) 千葉科学大26、青山学院大7、駒沢大6、芝浦工大12、上智大1、専修大10、中央大22、東海大12、東京理大5、東洋大26、日本大35、法政大6、明治大13、立教大3、早稲田大2

専攻科進路状況

- (千葉県) 国保旭中央病院15、聖隷佐倉市民病院2、東邦大学医療センター1佐倉病院1、鎌ヶ谷総合病院4、順天堂大学付属浦安病院1、国立病院機構下志津病院1、千葉中央メディカルセンター1、化学療法研究所付属病院1 (茨城県) 小山記念病院1 (進学)あひこ助産婦専門学校1
- (公務員 1) 東京都職員1
 (民間企業 6) 長峰無線(株)1、ちばみどり農業協同組合1、社会福祉法人福祉楽団1、東京電力(株)千葉支店1、東日本旅客鉄道(株)1、住友金属工業(株)総合技術研究所1

平成23年 同窓会役員

役 職	氏 名	卒 年
会 長	金 井 洋 夫	昭和32年
副 会 長	宮 内 敏	昭和36年
副 会 長	高 野 幸 夫	昭和56年
副 会 長	八 木 宏 純	昭和37年
副 会 長	辰 野 正 樹	昭和37年
副 会 長	信 田 臣 一	昭和38年
副 会 長	平 野 恭 男	昭和45年
副 会 長	大 木 乃 夫 恵	昭和45年
副 会 長	田 杭 和 彦	昭和54年
副 会 長	浅 野 裕 子	昭和54年
副 会 長	伊 東 均	昭和56年
副 会 長	笹 本 尚 子	昭和56年
事務局 長	岡 根 康 裕	昭和53年
事務局 次 長	林 俊 彦	昭和55年
事務局 次 長	島 田 洋 二 郎	昭和49年
事務局 次 長	佐 藤 弘 之	昭和51年
会 計	安 藤 裕 子	昭和57年
会 計	石 橋 高 博	昭和57年
会計監査	菱 木 仙 之 助	昭和52年
会計監査	三 浦 衛	昭和57年
総務委員 長	平 野 恭 男	昭和45年
広報委員 長	田 杭 和 彦	昭和54年
顧 問	西 川 照 幸	昭和18年
顧 問	杉 山 俊 明	昭和44年
顧問(校長)	猿 渡 末 治	
顧問(教頭)	早 川 昌 二	
顧問(教頭)	田 中 三 郎	昭和53年
顧問(事務 長)	石 橋 多 加 士	昭和49年

25日、本校の行われていた6月文化祭の行われていた6月、本校の最も東よりの音



挨拶をする宮内敏会長代行

同窓会幹事会
規約改正案を承認
宮内副会長が
会長代行に

同窓会 REPORT

楽棟3階で、同窓会幹事会が開催された。

最初、金井会長が病氣入院のため、宮内敏副会長が会長代行を務めることを報告し議事に入った。22年度の事業報告、決算、23年度の事業計画、予算と原案を可決した。質疑応答では、お山、西高両校の卒業生の一体化へ向けた同窓会の取り組みや同窓会名簿の編集内容について、さらに同窓会基金から学校整備への拠出の提案など活発な意見交換が行われた。

また、第5号議案で同窓会の規約改正(案)が承認された。昨年の総会で質問の「幹事の立場」について規約を整備し、第6条で「幹事が役員である」ことを明記し、第10条でこれまでの役員会を「執行部会」とした。それに関連して第7、8、10条が改訂された。これらの議案は再度総会で審議される。

4月2日(土)	総務委員会
4月7日(木)	入学式
4月16日(土)	第1回役員会議
5月1日(日)	幹事について、同窓会名簿について、同窓会だよりについて
5月20日(金)	第2回役員会議
6月20日(月)	会長職について、幹事会・総会について
6月25日(土)	教職員歓迎迎会
7月9日(土)	第3回役員会議
7月9日(土)	第1回幹事会
7月9日(土)	(事業・会計・役員・総会他について)
7月9日(土)	同窓会総会
7月9日(土)	講演会 17時「危機管理について(仮題)」
7月9日(土)	講師 宮林正恭(千葉科学大学教授)
7月9日(土)	総会 18時 懇親会 19時
7月9日(土)	(事業・会計・役員他について)
7月9日(土)	「同窓会だより」(第4号)発行
7月9日(土)	同窓会名簿発刊
7月9日(土)	職業人講話
7月9日(土)	(卒業生による「夢を育む授業」1年次生対象)
7月9日(土)	第4回役員会議
7月9日(土)	第5回役員会議
7月9日(土)	同窓会入会式
7月9日(土)	卒業証書・修了証書授与式
7月9日(土)	役員会議は必要に応じて開かれます。

平成23年度 同窓会事業計画

同窓会会員数 (卒業生総数)

	回数	計
旧制中学校	8	668
併設中学校	2	51
旧銚子高等学校	60	18,575
工業化学科	48	3,500
旧銚子中学・高校合計		22,794
銚子西高等学校	30	6,547
普通科	29	1,169
看護科(専攻科)	2	※73
銚子西高校合計		7,716
銚子高等学校	3	1,038
普通科	1	43
理数科	2	77
看護科(専攻科)	3	※105
合計		31,668

※専攻科は全員本校看護科卒(平成23年3月)

本本未本本
校校定校校
本校
本校
春台会館
春台会館
銚子プラザホテル
銚子プラザホテル
春台会館
本校

3月31日、まだ計画停電や交通網の乱れがある中、第4回ウオーキング&カルチャーが開催されました。こんな時こそみんなで集まろうという東京同窓会八木会長の強い意志で開催が決まり、18名が参加。乃木神社公園から青山霊園、東郷神社まで徒歩散策。原宿の南国酒家で懇親会を開催しました。震災被災者へできることから何かしようと、義捐金が集められ、銚子市へ寄付されました。

詳しくは八木さんの尽力でスタートした同窓会ホームページ <http://www1.ocn.ne.jp/~1ondska1/index.html> を御覧ください。

なお、7月16日には、「東日本大震災・特別講演会&懇親会」を企画。ヤマサ醤油株式会社長濱口道雄氏に「稲むらの火」で有名な祖先の濱口梧陵氏について講演していただく予定です。場所は原宿・南国酒家



乃木神社にて

東京同窓会 震災後も ウオーキング&カルチャー



小林 範久 銚子出身
千葉大学大学院融合科学研究科教授

「職業人講話」

平成22年11月11日、1年生を対象に(主に)卒業生による、職業に関する授業が行われました。
担当してくれたみなさんです。(敬称略)



向後 剛 昭和60年卒
弁護士/房総法律八日市場事務所



石上 明宏 昭和55年卒
(株)イシガミ取締役



堀(桜井) 亜希子 平成2年卒
獣医/あらおい動物病院



田代(関) 育子 昭和52年卒
薬剤師/セキカラコ薬局



高安 重一 昭和60年卒
一級建築士/(有)アーキテクチャー・ラボ



木戸秋 進 昭和44年卒
ヒゲタ醤油(株)/総務・システム部総括部長



金子(岡野) 珠江 平成2年卒
教諭(養護教諭)/銚子市立高神小学校



篠原 範幸 平成17年卒
東京電力株式会社千葉支社



野本光太郎 平成17年卒
県職員/総合企画部報道広報課広報室



雨宮 俊之 昭和52年卒
協和発酵キリン(株)/開発本部臨床開発第2部



石毛 里佳 平成16年卒
作曲家/県立幕張総合高等学校非常勤講師



向後 功作 昭和56年卒
市観光プロデューサー(銚子市観光協会,元銚子電鉄)



多邊田美香 昭和60年卒
花王株式会社/生活者研究センター

会費の納入をお願いします。年会費1,000円

振込先 郵便局 □座名 銚子市立銚子高等学校同窓会 □座番号00100-2-189041

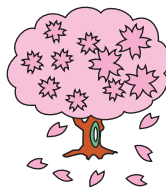
一年は早いものです。つい忘れがちなので是非この機会に終身会費をお願いします。(10,000円)

終身会費納入者 (平成22年8月より平成23年3月まで納入分) (卒業年順・敬称略)

昭和17年卒 高濱 忠勝	昭和36年卒 宇野沢 宏	(松本)赤坂和子	岩崎 伸行	昭和55年卒 桜井 啓史	小原伊知郎	高木 貴史	平成18年卒 井高 佐貴	野口 直哉
昭和19年卒 廣瀬 秀雄	昭和37年卒 山口 芳夫	(秋山)伊藤佳世子	菅澤 春幸	加瀬 克紀	昭和61年卒 高木 啓之	津布久 義人	大後由美子	平成22年卒 石井 亜莉沙
昭和22年卒 大橋 春男	吉田 彰夫	宮崎美登里	昭和52年卒 (高島)岡崎滋子	(鈴木)高橋 郁子	高木 啓之	宇井 祐子	飯森 恵	柏熊 恵里佳
昭和26年卒 関谷 善朗	昭和38年卒 (木村)三角淑子	宮原 孝夫	昭和53年卒 板寺 英一	山本省吾	佐久間由美	平成8年卒 宮部 陽平	樽林 秀樹	宮内 俊光
昭和30年卒 豊田 博	昭和40年卒 向後 憲男	昭和45年卒 (遠藤)岡田 渉	加瀬 充彦	昭和56年卒 伊藤 秀行	石毛 健一	宇井 浩司	平成19年卒 名雪 真代	小林 弘茂
昭和32年卒 滑川 晃	昭和41年卒 田中 啓康	昭和46年卒 磯村 章吾	山口 隆司	(横塚)山口 淑江	昭和62年卒 和田 匡史	平成11年卒 名島 妃呂子	平成21年卒 山本 菜由子	伊藤 梓
昭和33年卒 大内 文男	昭和43年卒 小池 孝	昭和48年卒 (小澤)鳥飼 恵子	昭和54年卒 石橋 務	(高橋)菅本 尚子	昭和63年卒 梁川 佑吉	宮原 克弥	糸川 美慶	金子 友美
昭和35年卒 丸谷 克彦	昭和44年卒 林 寿	昭和50年卒 (山口)高橋 和子	吉野 浩之	昭和57年卒 竹内 忍	(渡邊)榎戸 幸絵	鈴木 俊一	和田 直人	木内 千尋
五十嵐 三武郎			伊藤 章雄	昭和58年卒 植村 貴	平成元年卒 大塚 勝	平山 由香梨	圓藤 祐太	五木 田由美香
西原 靖			(増田)越川 裕美	多部 田賀子	(梅花)立山 万里	平成13年卒 根本 珠帆	木本 祥子	溝 淵 愛美
			山口 裕康	昭和59年卒 櫻井 源彦	平野 宗一	(宮原)松本 実里	加藤 璃咲	林 真衣
			村田 康幸	加瀬 博文	平成2年卒 宮内 紀子	大後 裕樹	高橋 宏明	安藤 成菜
			高橋 永子	飯森 勲	平成3年卒	鈴木 香葉	鈴木 香葉	林 修平
			宮澤 みどり			遠藤 有美乃	高木 諒	横 堀 恵太
						大木 和也		合計 116名

終身会費 納入者一覧

同期の桜



北から南から

あの人・この人 P.S.元気ですか？

クロアチアに恋して

長崎(斉藤) 邦子 (S45年卒)



皆様正面をご覧くださいませ、あちらに見えますのがアドリア海に浮かぶ真珠と呼ばれるドロブニクです。本日は街を取り囲む城壁の散策から始めましょう。それでは早速ピレ門をくぐり、左手にあります階段を上りましょう。昔からの石造り

の階段ですので足元にお気をつけください。尚約50段階ございますが、上り終えますと城壁の上は遊歩道になっております。それでは、いざ出発！と現実でも夢の中でも最近クロアチアにはまっています。旅行業に携わって30年。仕事でもプライベートでも各地を歩きましたが、いつでも、又、何度でも行きたくなるのがクロアチア。その中でもドロブニク。ほんの数年前まで内戦状態にあったのがうその様に見事に以前のままに修復された家々が、アドリア海のブルーに映えます。特に5月初旬、強い日差しとムール貝と白ワインがお勧めです。

45年前(何と、半世紀近く前なのでですね)の入学式の時(だと思ふ)、校長先生がおっしゃった「高校は勉強を教える所ではない、勉強の仕方を教える所だ」という言葉、又殆どの先生方が「自由V」そうに見え、全ての先生方が私たちを大人として扱ってくださいました。又、とても個性的でいらした。今思うと、私が常に意識している「ハユニク」でありたいVという思いはこの当時に芽生えたのかも知れません。

60歳になり全ての責任を終え、風まかせに、半分夢み「こちで風まかせ 夢は枯野を駆けめぐる 変形松尾芭蕉

自分が変われば 周りも変わる

宮内 眞徳 (S55年卒)



昭和55年3月銚子西高を卒業し、早いもので31年も経ちました。

私は、第2回生として野尻ヶ丘の新しい校舎で入学を致しました。校歌もまだなく、少し不安に思いましたが、これからのこの学校で楽しく学生生活をおくっていくと決心しました。

私は、バレーボール部に所属しておりました。1年生の時は、積極的に参加する方ではありませんでした。2年生になると後輩が入部してきて、顧問の先生も新卒バリバリの鈴木準一先生になり、今までの自分では、想像のつかない、厳しい練習でありました。

しかし、鈴木先生のおかげで精神力・忍耐力も補うことが出来ました。当時としては、苦しい部活動ではありましたが、後の社会人として、生きていく為に、いかに先生のご指導が私にとって、大事かを痛感させられました。また、授業を含めた学校生活

活と申しますと、私はとにかく勝手な行動が多く、担任の青柳先生にも大変お世話になりました。当時の先生方の温かいご指導がなければ、どの様になつていたかわかりません。その後、市立銚子西高を卒業し、現在、東京に於いて、(株)エムフーズ・ブランドという会社を営営しております。多くの従業員と関連会社をもつ、社長として日々努力しております。吉祥寺を拠点とし、外国では、上海にもお店を出店しております。

これまでに幾多の困難を乗り越つてまいりましたが、常に私の周りでは、多くの社員・友人・知人が私をサポートしてくださっております。この場をおかりして、御礼申し上げます。

私は常に「自分が変われば、周りも変わる」と信じ、実行してきました。世の中を変えるのは大変ですが、自分が変わることはいつでもできます。実行力を身につけていけば、自然と結果に繋がっていくのではないのでしょうか。

昨年8月に新しい統合の校舎になり、新市立銚子高校の本当の出発となることを、友人に聞きました。どうぞ、若者の力で、新しく、そして、伝統を重んじた市立銚子高校の限りない発展を、祈っております。とにかく、一度きりの学生生活を充実させ、社会に出て、自分自身に負けな

い勇気ある人生を送れるよう、頑張ってください。

被災地に 支援物資を届けて

片山 貴夫 (H2年卒)



今年、社団法人銚子青年会議所の第48代理事長を仰せつかりました。

日頃より青年会議所活動にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。とくに先の震災後には被災地へ向け支援物資を募集しましたところ、銚子も被災地にも関わらず、市民の皆様から沢山ご協力いただきました。皆様の思いのこもった物資は福島県の相馬市と、宮城県気仙沼市、岩手県大船渡市、陸前高田市に届けて参りました。

この場をお借りいたしました。ご報告するとともに、ご協力いただきました事に厚く御礼申し上げます。

社団法人銚子青年会議所として、銚子市民の皆様のご協力のもと全国の青年会議所のネットワークも生かし復興の一助になればと災害支援に取り組んで参りました。そして、初めて被災地を訪れた時は、報道等の映像で見ていた

のですが、実際に惨状を目の当たりにし、ただただ茫然とするだけでした。言葉がなくなるとは、まさにこの事でした。

見渡す限り瓦礫で、そこに行方不明の家族がいる方の気持ちを考えてと耐えられませぬ。そんな中、被災地の方は復興に向かわなければならず、被災地が復興というレベルではなくまさに日本が復興しないといけないという気持ちです。今後団体としても、一人の日本人としても何か手助けしていかなければと強く感じました。

被災地の方にも直接話を聴けたのですが、想像を絶する悲しみ、苦しみを受けています。「復興は無理ではないか」、「何をしたいかわからない」と口にする方もいます。支援に行った私たちまでも「何が



大船渡市の被災地にて

出来るのか」と思ってしまう程です。銚子市と同じ規模のある港まちでは、7割くらいの方が職を失っているのではと聞きました。町の経済がストップし、復興の足かせにもなっている様子です。しかし、これらの苦難は乗り越えて行かなければなりません。被災地の方でも、力強く、素晴らしい行動力で復興に取り組んでいる方もいます。本年度の社団法人銚子青年会議所は心も力も一つになるという意味の「勳力同心(りくりよくどうしん)」をスローガンに掲げています。現在の状況はまさに日本が心も力も一つになつて取り組んでいかなければならない時だと感じています。今後は、被災地の青少年達にPTSD(心的外傷後ストレス障害)の症状により、復興を遂げた後も苦しむ事のないように、青少年育成活動の一環で対策事業を計画中です。次代を担う青少年たちの震災の恐怖からの見えない心の傷を少しでも軽減できる様、また銚子の高校生にも被災地に対して何が出来るか考えてもらおう機会をつくる交流事業を企画中です。市立銚子高校の現役生はじめ市内の高校生に企画から協力いただいておりますので、同窓生の皆様のご支援、ご協力もよろしくお願い致します。

人とのつながりで仕事しています

大川 達弘 (H12年卒)



初めまして。(同窓生の方へは無沙汰です。)

私は今、日本橋と渋谷を活動拠点にして

- 1、Webマーケティング
- 2、フライングシヤルプランナー
- 3、イベント企画

に従事しています。

その全てで感じていることは人とのつながりの重要性です。前職のソニー生命時代には、平日は首都圏、土日は銚子周辺にて営業活動を行っていました。その間、たくさんの出会いがあり、誰かに感謝すること、感謝されることへの充実感を積み重ねたことが転換期となり、人との出会いを楽しむようになりました。そうして出会った方々とは今でも節目節目に連絡を取り合っています。きつとこの記事を讀んだら喜んでくれるだろうなと思うと、ついつい口元が緩んでしまいます。そうした経験は現職でも活きており、webマーケティングであつてもイベント企画であつても変わりません。インターネットの世界では、人とのつながりは希薄になるかもしれませんが、裏側でマーケティングの仕掛けをするのは人だからです。様々な立場の人が意見を出し合つて形にしています。そこでも重要なのは人とのつながりなのです。そして今回、この同窓会だよりに寄稿させて頂くことになったのも一つのご縁があつたからです。みなさんはGoogle+をご存知でしょうか。現在、世界中で5億人超のユーザーが利用していると言われているSNS(インターネットを利用したコミュニケーションツール)です。極端な言い方をすれば、利用登録をすることで5億人超とつながることができるといふことです。多少の個人差はありますが、利用者の大半は実名で登録しており、顔写真や勤務先、学歴や職歴を公開しているため、やり取りしている相手の情報がある程度共有できるのです。私の場合は、旧友と再会したり、好きな書籍の著者とお会いしたり、現職の顧客とGoogle+上で会議したり...と色々活用しています。もしご興味があれば一度利用してみてください。

さして、つながりに日々感謝する中で、目標にしていることが二つあります。一つは税理士を取ることです。これはここ2年ほどで初めて勉強の楽しさに目覚めたため、ある種の趣味として挑戦したくな

「同窓会名簿の御案内」

8月下旬発刊予定の「統合・落成記念の同窓会名簿」。申し込み時期を逸した方に朗報です。

名簿代金4700円に加え宅配代引き手数料400円で購入できます。購入を希望される方は、今月(7月)中に本校 総務部長/岡根まで御連絡ください。

学校・☎ 0479(25)0311

りました。そしてもう一つは、銚子のために何かするということです。まだ漠然としていますが、同郷の友人と話すたびに故郷が寂れていくという話題になるので、何かできないものかと考えるようになりました。どちらも達成に向けて少しずつ努力を重ねています。達成した際には再度、このコーナーに登場するかもしれません(笑)

懐かしの職員室

生徒と先生、一緒になって作り上げた西高

辰野 隆 (S42年卒)

創立2年目から西高に勤務しました。それまでは、銚子三中で教師をしていました。新設高校は、2年目、3年目と学年が増えていくので、新しい先生が次々必要だったので、新設高校の先生だったので、芸術科目で、教師経験者が必要ということ、声をかけてもらえました。私自身も高校の先生になりたいと思っていましたので運が良かったと思っています。

中学では、やったこともないので野球部の顧問をしていたので、西高にいったら、私が高校時代にお山にいらした矢部先生に「一緒に野球部を作ろうよ」といわれて、矢部先生が監督、私が初代の部長になりました。6年目(野球部創部4年目)で、成東高校野球部OBの米沢先生も来られたので私は部長を辞めまして、初の甲子園出場となりました。私の部長時代は、1勝もできなかったのに。

もちろん、美術部が私の専門です。私がお山に入学して美術部に入部したとき、顧問の磯村先生が、大吠の陶芸家・明石先生の銚子焼を習いに行つて、窯を作つて教えてくれたんですね。とても楽しい思い出になりました。その経験から、この西高の子ども達にも陶芸をやらせてみたいと考えて、陶芸の窯を自分たちで作ることにしました。当時、茨城県七会村に穴窯という古い方式の陶芸窯を見学に行つて、それを真似して夏休み40日ぐらいかけて窯を作りました。窯を雨



ざらしにするわけに行かないので、周りを覆わなくてはなりません。東京電力に古い電柱を譲ってくれと頼んだら、昔の木の電柱ですけれど、そういうことなら持つてきてくれました。自分たちで電柱を組んで小



自宅アトリエにて

屋まで作つたんです。窯の燃料は、野尻にあつた製材所から切端材などをもらつて、それを生徒が薪にしました。でも、薪だとなかなか温度が上がらなくて、3日間ぐらい合宿しながら焼き上げるんです。信楽や備前などから土を取り寄せたり、上薬も材料屋から仕入れた物を自分たちで調査して作ります。楽しくできたと思います。作つた茶碗を文化祭で販売もしました。最初のころは、「先生、去年買った茶碗は、水が漏れたよ」なんて代物もありましたが。西高は、とにかく何もなかったの、生徒と自分たちで何でもつくりあげなければなりませんでした。文化祭も、最初は体育館がないので、グラウンドに足場を組んでステージを作るところから始めたわけです。化学の宮内雅夫先生が花火を打ち上げたり。今では防災上問題があるとかいわれて許可にならないでしょうね。運動会も、聖火リレーだって猿田駅前から走つた

のですが、聖火のトーチは空き缶をつないで中に燃料を入れた手作りです。赤、白、青の3色に分かれての応援合戦。チームを表す看板は、ベニヤ板6枚をつなげた大きな物で、作るの大変でしたが、充実感もありました。地域のお年寄りを運動会に招待して喜ばれていました。

同じ学校に15年以上上居たら転勤しなくてはならない(今は10年)という勤務条項ができて、西高に17年いてお山に移りました。クラス担任をしながら生徒と関わりたかったのですが、生徒指導部長や学年主任をやらされることになって、なかなか自分の好きに仕事をしてくれるわけにはいなくなりました。それだけの

年齢になっていたということかも知れません。今年の3月で教師生活には終止符を打ちました。母校であるお山より、西高が思い出深い高校になっています。

お山と西高のそれぞれの伝統を引き継いで今の新しい高校ができたわけですが、在校生の諸君には、自分たちが新しい高校を作つていくんだという気概をもつて高校生活を送ってもらいたいですね。(談話)

辰野 隆	昭和52年4月〜平成6年3月
	平成17年4月〜20年3月
	平成6年4月〜平成17年3月
	平成20年4月〜平成23年3月
市立銚子高校勤務	西山勤務 お山勤務

東日本大震災チャリティーコンサート
～ソプラノと詩吟で聴く 心のうた～

ソプラノ歌手の越智まりこさんと吟詠の宇井修光(本名久絵)さんの同級生コンビ(S58年卒)に、箏の原郷海恵子(H元年卒)さん、名護郁子(H5年卒)さんらも加わり、チャリティーコンサートが開催されます。それぞれの出演に加えコラボレーション企画もあります。コンサートの収益は全額日本赤十字社へ東日本大震災の義捐金として寄付されます。

- 日時 2011年7月16日(土) 14時開演(13時30分開場)
- 場所 銚子市民センターホール (0479-22-0340)
- 入場料 2000円
- 出演 越智まりこ(ソプラノ)/宇井修光(吟詠) /原郷海恵子(箏)/原郷界山(尺八)/林 薫里(ピアノ) /名護郁子(お話)



越智まりこさん



宇井修光さん

- お問い合わせ
ピアチェーレ
☎090-7807-7630
宇井
☎0479-22-4167
- チケット
オワリヤ楽器銚子店
☎0479-22-0711